

お困りごとにご相談を

新型コロナ

市議員

山内 涼成

安心・安全
くらし第一に

だれもが安心して暮らせる北九州市に

山内涼成は提案します

北九州市を住みやすい街にしたいとの思いで、がんばっています。市民の命とくらしを最優先する市政の実現へ力を尽くします。



日本共産党

期待します

福岡県建設労働組合
北九州支部内後援会会長

川上 洋一

アスベストアナライザー（分析装置）を北九州市に購入させ、建設職人の健康を守ろうとする山内市議。「住宅リフォーム助成制度」「小規模工事登録制度」「公契約条例」などの創設で建設職人と家族の思いを市政に反映させてください。



小池特別支援学校父兄

園田 浩志

コロナウィルス感染症のため、新年度が休校の状態が始まりました。そのような状況のなか、子どもたちのために、早く教育委員会に掛けあい、特別支援学校再開のために動いていただき大変ありがとうございました。これからも未来ある子どもたちのために、山内議員には、市議会でぜひ、頑張ってください。



● 市政に「福祉の心」を

- ・国民健康保険料・介護保険料の引き下げをめざします。
- ・高齢者の買い物や病院など移動支援に、タクシー、JR、バスを使うとき、交通費の補助をする高齢者福祉乗車券の助成制度をつくります。

● 「子育てするなら北九州」をめざす

- ・子ども医療費を完全無料化で高校卒業まで拡充します。
- ・小中学校の先生を増やし少人数学級で行き届いた教育をめざします。

● 雇用創出で活性化へ

- ・福祉・医療・防災など地域密着型の事業に切り替えて雇用を増やします。
- ・住宅リフォーム助成制度の復活、商店リニューアル助成制度の創設で商店街の活性化と地元業者に仕事を増やします。

あなたはごどう思われますか？



保健所も

人間の命にとって必要不可欠なものは、その地域で確保することが基本です。国がすすめる「行財政改革」で、北九州市も保健所を7ヶ所から1ヶ所に削減、市立病院の廃止・縮小などで、市民の命や健康を守る行政の役割が弱められてきました。そのためコロナ感染で、「PCR検査ができない」「感染病床が少ない」など不安の声がたくさん寄せられています。利益第一主義の政治から、市民の命や健康を守る市政への転換が求められています。

市民が声をあげれば政治は動かせます

若松に保健所の復活

「いのちと暮らし第一」

市政アンケートにご協力ください！

スマートフォンから簡単にできます。



ムダづかい許さず



3500億円の下北道路やめて、コロナ対策に回せ

コロナ禍なのに安倍政権・自民党が中心になって推進。必要性も採算性もない下関・北九州道路建設（3500億円）の大型公共事業はストップします。命とくらしを最優先にする税金の使い方に切り替えます

ストップ！安倍政治

市民と野党の共闘で新しい政治をめざします

河井前法相の買収事件で、資金提供した自民党安倍政権の責任は重大です。安倍政権をやめさせ、市民と野党の共闘で新しい政治の未来を切り開きましょう。

衆議院議員
予定候補

福岡9区・比例代表

まじま省三



毎議会 で若松の声をしっかりと 市政に発信してきました

市会議員

山内 涼成

りょうせい

日本共産党



市議会議員の役割は、市政のチェックと政策提案です。私は、税金の使い方を厳しくチェックすると同時に、毎議会で若松の声をこどけ、市民のくらしに役立つ提案を行っています。質問回数は、若松選出議員の中でダントツです。

年間250件以上の生活相談



私の生活相談所には、年間250件以上の相談が寄せられます。「口ナによる影響で、「お客が入らず収入が激減」、「会社は休業」、「低い年金で生活できない」、「バスの便が少なく買い物が大変」などの切実な声が寄せられます。みなさんからの相談や要望を伺うことで、行政の問題点がわかり改善に向けた取り組みに生かされています。

くらしの相談、どんなことでもお気軽にご相談ください。(毎日受付) 弁護士法律相談は、毎週水曜日(要予約)

日本共産党 若松生活相談所 TEL771-5323

住民の願いで、市政を動かす

PCB廃棄物処理が全国で初めて若松で実施され、環境省は平成28年処理終了予定を令和3年まで延期しました。私は「再び市民との約束を破ることは許されない」と強く抗議。市は「環境省に期限内処理を要請する」と答弁。安心・安全な若松区にするため、みなさんの声を市政へ届けています。

「高齢者福祉乗車券」の実現を 公共交通の充実を提案する議席

北九州市のバス路線は廃止・縮小の一途で、高齢者にとって利用しにくくなっています。病院やスーパーの買い物に出かけるための支援が必要です。私は、JR・バス・モノレール・タクシーを利用するときに交通費を補助する高齢者福祉乗車券の実現を訴えています。



高齢者福祉乗車券の署名スタート集会で北九州市の公共交通を説明する山内議員



響灘を危険物のごみ捨て場にすなの会

小野 喜代子

北九州で強行された「PCB」無害化処理。今年、「処理期間は20年間」と約束した最後の年です。無害化処理より、危ないといわれる工場の解体作業の事などについて、山内市議は議会のたびに鋭く追求して来られました。

お願い事をしたら、こちらが家に着くより早く山内市議から一報が入る身の軽さも有名です。



「若戸大橋・トンネル無料化を実現」 みなさんと力を合わせて 50年間たたかい続けて きた議席

「若戸大橋は生活道路！通行料は無料に」の要求をかかげ裁判まで行いました。2018年12月に若戸大橋・トンネルの無料化が実現。若松区民の半世紀にわたる運動で実りました。

旧北海道線道路、がけ崩れの 改修が始まりました

以前から不安視されていた旧海岸線道路が、2018年7月西日本豪雨災害で大規模のがけ崩れにより通学路が遮断されました。私は、福岡県と北九州市の職員とともにすぐ崩壊現場に駆けつけ、その場で協議し、これまで解決策がないとされてきたが、県、市で共同して保安林指定の制度を使って、改修工事を行うことを確約しました。現在本格的ながけ地改修が行われています。



- プロフィール やまうち りょうせい
- 1965年9月生まれ
 - 九州産業大学付属九州高校卒
 - 元北九州市交通局職員
元交通局労働組合書記長
党若松地区委員会副委員長
 - 市議2期、経済・港湾常任委員
 - 家族/妻、子2人